

ほうこうさんの歴史



奉公さんは、おまきさん伝説がもとになって作られました。病気になったお姫様に仕えていたおまきさんが身代わりとなり、なくなってしまったという伝説です。おまきさんは、自分よりお姫様を大切にしていることがすごいなと思います。

奉公さんはいつできたの？

高松張り子は、高松藩初代藩主松平頼重公が高松に来られた際、家臣が伝えて始まったと言われています。高松張り子が有名になったのは、明治になってからだそうです。江戸時代から始まった高松張り子ですが、昔の人が大切にしていたことをずっと大切に受けついでいるのがすばらしいと思います。



奉公さんの使い方

奉公さんの使い方は二つあります。一つは、病気の子にだかせて海に流すという方法です。そうすると、病気が治ると言われています。二つめは、嫁入りの時に近所の子にあげたりタンスに入れたりする方法です。これからよろしくお願いしますという気持ちで配ったり、娘さんが幸せでいられるようにタンスに入れておいたりします。奉公さんは、人のために役立ついいことばかりの人形ですね。

Point in Check ④

奉公さんは、昔から高松の人に大切にされてきた歴史深い人形です。



築地小ギャラリー



ほうこうさんを作ること
でわたしたちは、郷土高
松の歴史を学び、また、
自らの手でモノ作りの楽
しさにふれました。愛ら
しいほうこうさんがたく
さん出来上がったとき、
教室は笑顔でいっぱい
でした。



今制作にあたりご協力いただいた乃村さん、本当にありがとうございました。

◆制作指導



高松張り子 伝統工芸士
乃村 七重

父の跡を継ぎ、ほうこうさんを作り続け
三十余年。高松張り子の制作者として
は唯一の伝統工芸士。

香川県 高松市八坂町 3-4
TEL 087-821-8442

ほうこうさんガイドブック

発行 平成19年11月20日
発行所 高松市立築地小学校
ホームページ www.edu-tens.net/syoHP/tukijihp/

高松張り子

ほうこうさん

ガイドブック

